

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 096	提案機関名 神奈川県漁業士会
要望問題名 海況変動が漁場形成に及ぼす影響調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、黒潮大蛇行の影響から本県沿岸域の漁場に1ノットを越える（速い時には3～4ノットを越える）ような速い潮が差し込み、かかりサバ漁や底魚の立て縄釣りなどでは操業ができないあるいは操業効率が悪くなる事象が発生している。また、マサバ太平洋系群の資源水準は近年回復しているとされるが、海況の影響を受けてか東京湾などの沿岸域を操業するかかりサバ漁は不漁が続いている。さらに、ロシアのウクライナ侵略の影響から原油の価格が上がっており、漁業の現場では一層効率的な操業をすることが求められている。そこで、水技センターで蓄積した海況データと漁獲データを用いて、かかりサバ漁をはじめとする重要漁業について、黒潮大蛇行をはじめとする漁場環境の変化が魚群形成に及ぼす影響を明らかにし、出漁を判断する際に有用となる情報を提供いただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部・企画指導部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>本県沿岸域に来遊するマサバについては、これまで初夏から夏季における海況が釣り漁獲量と関係があることが解明されており、その成果を用いて当所のホームページで「沿岸サバ漁況予報」を公開してきました。またサバ類の回遊状況を把握するため、当所の漁業調査指導船江の島丸により伊豆諸島海域や東京湾口などの海域でサバ類の標識放流調査を毎年実施しています。しかし、ここ数年は予測値よりも実際の漁獲量が少なくなることも多く、海況条件の変化が回遊経路に影響を及ぼしている可能性があります。</p> <p>サバ類は太平洋を広く回遊する魚種であることから、今後も水産研究・教育機構や近隣都県の試験研究機関等と連携して現状の把握と情報収集に努め、漁業に有用な情報を提供するために漁業者との情報共有を図るとともに、貴会と対象魚種や漁場について意見交換を行い、どのように取り組んでいくのか検討いたします。</p> <p>また、沿岸域の漁場については江の島丸の流向流速観測値をホームページの「漁業調査指導船「江の島丸」水温等調査情報」で公開を始めました。今まで通り黒潮流路等については、関東・東海海況速報や衛星画像などをホームページで公開しておりますので、参考にいただければと思います。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			